（別紙4（2））

事業所名：グループホーム　敬愛

作成日：令和　2　年　2　月　8　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	〈理念の共有と実践〉 理念をもっとわかりやすく、目に入るようにした後、成文化するために身近な行動目標を具体的に立ててみてはいかがでしょうか。	▸理念の実践のために、具体的な行動目標を立てて、取り組んでみる。 ▸取り組み内容の振り返りを行う。	①理念を大きく目につくように掲示する。 ②今年度、身近な行動目標として、具体的にどのように取り組むかを一人ひとり決めて、職員紹介の写真のところに掲示する。 ③取り組んだ結果を年度末に振り返る。	12ヶ月
2	18	〈日常的な外出支援〉 コロナ禍でも、身近な外出や楽しみが増えるように企画を増やしたり、範囲を広げたりしてはいかがでしょうか。	▸敷地内の散歩や園芸など屋外での活動を積極的に行うことで、閉塞感の解消やストレスの軽減につなげる。 ▸制約のある面会ではあるが、ご本人様・ご家族様双方に安心していただけるようにすること。	①時候の良い時に、敷地内を散歩をしたり、花や野菜の世話をしたりすることで、屋外の風にあたり、季節を感じていただく。 ②棟別や合同のイベントで、交流を図る。 ③ご家族様に玄関でのガラス越しの面会やリモートでの面会を提示して、面会していただけるようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。